

結果の要約

1 職業

山梨県の15歳以上就業者数(444,200人)を職業大分類別にみると、「生産工程・労務作業者」が138,299人(15歳以上就業者数の31.1%)と最も多く、次いで「事務従事者」が77,552人(同17.5%)、「販売従事者」が55,927人(同12.6%)などとなっている。平成12年と比べると、「保安職業従事者」が599人(10.3%)増、「サービス職業従事者」が3,719人(8.6%)増となっている。一方、「管理的職業従事者」が1,952人(15.7%)減、「運輸・通信従事者」が1,326人(10.4%)減などとなっている。

職業4部門別割合は、「生産・運輸関係職業」が33.7%と最も高く、次いで「事務・技術・管理関係職業」が32.4%、「販売・サービス関係職業」が24.6%、「農林漁業関係職業」が8.4%となっている。平成12年と比べると、「販売・サービス関係職業」が1.0ポイント上昇しているのに対し、「生産・運輸関係職業」、「農林漁業関係職業」、「事務・技術・管理関係職業」がそれぞれ1.0ポイント、0.4ポイント、0.2ポイント低下している。

「事務・技術・管理関係職業」 = 「専門的・技術的職業従事者」 + 「管理的職業従事者」 + 「事務従事者」
「生産・運輸関係職業」 = 「運輸・通信従事者」 + 「生産工程・労務作業者」
「販売・サービス関係職業」 = 「販売従事者」 + 「サービス職業従事者」 + 「保安職業従事者」
「農林漁業関係職業」 = 「農林漁業作業者」

2 就業時間

15歳以上就業者の平均週間就業時間は41.3時間で、職業大分類別にみると、「運輸・通信従事者」が47.8時間と最も長く、次いで「保安職業従事者」が46.7時間、「管理的職業従事者」が44.3時間などとなっている。平成12年と比べると、すべての職業大分類で減少となっている。特に、「サービス職業従事者」が2.2時間減、「販売従事者」が1.9時間減となっている。

3 夫婦の労働力状態、職業

夫婦の労働力状態をみると、夫と妻ともに就業者である夫婦が110,159組(夫婦数219,745組の50.1%)と最も多く、次いで夫が就業者で妻が就業者以外である夫婦が62,511組(同28.4%)などとなっている。また、夫と妻ともに就業者である夫婦の職業をみると、夫と妻ともに「生産工程・労務作業者」である夫婦が14,226組(夫と妻ともに就業者である夫婦数の12.9%)と最も多く、次いで夫と妻ともに「農林漁業作業者」である夫婦が11,038組(同10.0%)などとなっている。

4 従業・通学時の世帯の状況

従業・通学時の世帯の状況をみると、「通勤・通学者のみの世帯」は94,002世帯(住宅に住む一般世帯315,765世帯の29.8%)となっている。一方、通勤・通学者以外の世帯員がいる世帯は221,763世帯(同70.2%)で、このうち通勤・通学者以外の世帯員が65歳以上の「高齢者のみ」の世帯が79,726世帯(同25.2%)、「女性のみ」の世帯が37,463世帯(同11.9%)、「高齢者と女性のみ」の世帯が17,167世帯(同5.4%)となっている。

図1 山梨県の職業（大分類）別就業者数（平成12年，17年）

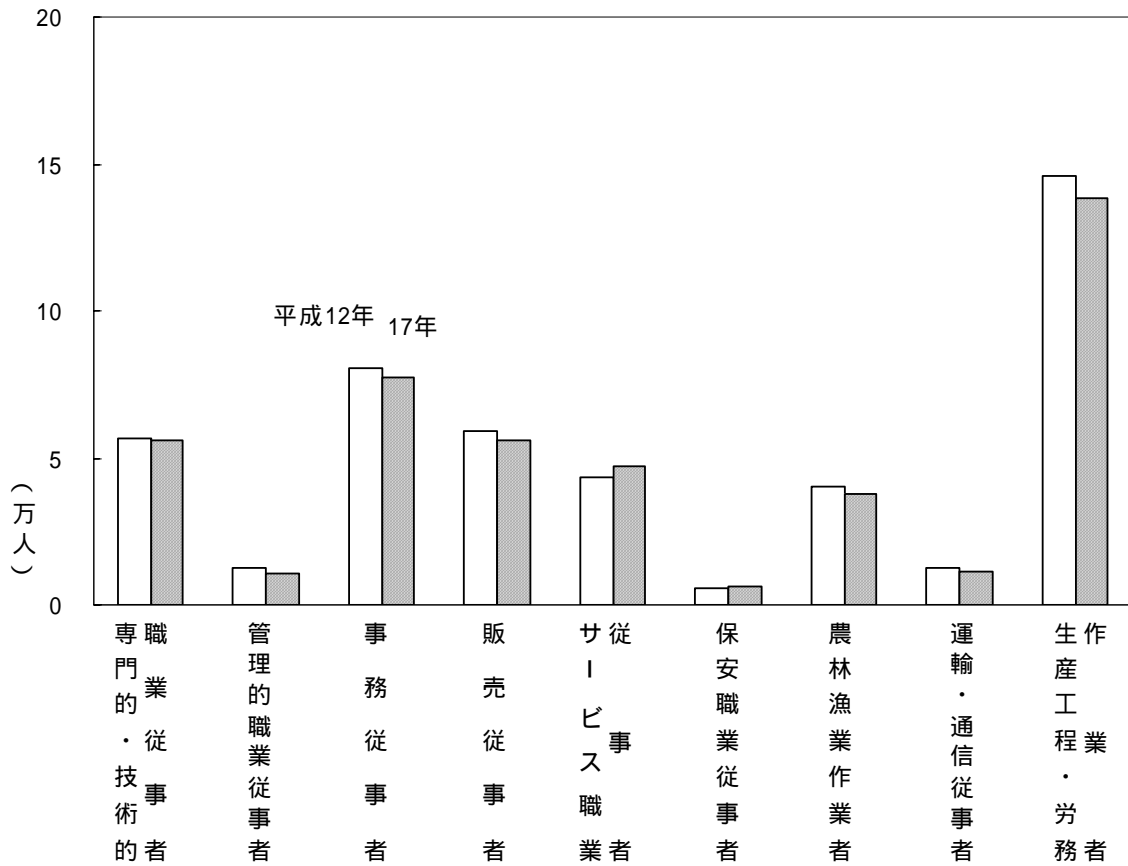


図2 山梨県の職業（4部門）別割合の推移（昭和55年～平成17年）

